

静岡

祝・掛川城天守閣開門30周年

掛川城は約500年前、今川氏の重臣朝比奈氏により築されましたが、近世城郭としては1590年、山内一豊の入城により築造されました。

その掛川城址は、明治以後に二の丸御殿が行政施設として使用、全体としては植物園的な整備が行われ、今では桜の名所の都市公園として多くの市民に親しまれています。

その後、昭和63年3月に新幹線掛川駅が開業したことを契機に、掛川城天守閣を復元する市民活動が活発化したことで、掛川市民の郷土愛は長年の念願であった天守閣復元へと進みだしました。

そして、幸いにも良質な史料が存在したことや城郭研究の権威の方々の協力があつたことで、建設工事5年という歳月をかけてわが国初の本格木造天守閣として復元を果たしました。

また、周辺の復元工事に先立って城址の発掘調査を行ったことで、築城時の城郭主要部の登城路や虎口、三日月堀などの大変貴重な遺構が確認でき、全国各地の職人の方々により古来の技術が駆使された結果、これらを展示保存することができました。

さて、掛川城天守閣は、平成6年4月に掛川市民や市内企業をはじめとした方々からの熱い想いと寄附によって復元されてから、本年4月3日で30周年を迎えました。

かつて「東海の名城」と謳われた美しさをそのままに、掛川城公園内の豊かな自然などに包まれた天守閣は、徳川家康、今川氏真をはじめとする数多の戦国武将が覇権争いを繰り広げ、静かに耳を澄ますと、ロマンに燃えた人々の鼓動が聴こえてくるようです。

30周年の節目にあたり、掛川市では今年1年間を「アニバーサリーイヤー」と位置づけています。市のシンボルとして市民に愛され、また観光資源として同市の活性化に貢献してきた掛川城天守閣がもたらした「恵み」に感謝するとともに、市民みんなで掛川城の「価値」を再確認・再発見するための記念事業を実施する予定です。

記念事業は掛川城の魅力の再認識・再発見をテーマとし、記念式典や祝賀パレード、大茶会など、市民や多くの観光客と一緒に祝いできるようなイベントを本年10月19日(土)から11月初旬にかけて毎週開催する計画となっています。

各種イベントなどの詳細は、掛川城天守閣開門30周年記念事業のホームページで確認できますので、是非みなさんも参加してみてくださいはいかがでしょうか。



東海の名城「掛川城天守閣」



ライトアップされた掛川城天守閣